

たいよう

発行所
太洋基礎工業株式会社
たいよう新聞委員会

最前線レポート

現場名

長野自動車道

一本松トンネル補強工事

工事場所

(自) 長野県安曇野市 豊科南穂高

(至) 長野県千曲市大字屋代

工事発注者

東日本高速道路株式会社

関東支社長野工事事務所

元請業者

西松建設株式会社

施工期間

令和二年一月二〇日、令和六年七月一日

工事概要

覆工受け台工 一六〇m

(掘削土量 四六三m³、

コンクリート二〇八m³)

インバート工 一六〇m

(掘削土量二、一一一m³、

コンクリート六〇二m³)

一九九三年(平成五年)豊科I

Cより更替した間の開通により

供用開始された一本松トンネル

トンネルを更替側に抜けると姨

捨SA、眼下には善光寺平(長

野盆地)、段々状になっている

無数の水田が広がり、そこに映

る月は「田毎の月(たごのつ

き)」と呼ばれ夜景はとも心

癒やされます。夏には数は減り

ましたが虫も現れます。我々長

野支店もこちらの棚田で毎年お

米を育てています。

俳諧師 松尾芭蕉は「おもか

げや 姨ひとりなく 月の友」と

詠んでいます。様々な思いに

満ちています。

色々と考えさせられ、心洗われ

る、そんなすてきな場所でもあ

るので皆様も長野にお立ち寄り

の際は是非、姨捨SAで一息つ

声援

技術相談などを行いながら連携を深め、九州のさらなる建設技術の発展を目指すものです。」と掲げられています。

当社も「安全防災」のエリアにブースを出展しました。開催テーマは、「インフラ分野で深化するDX」です。WEB展示を含め、一三五ブースが出展されました。

当社からはエヌエスピーシーW工法【軽量盛土工法】を出展しました。またその隣のブースではRBP工法協会として、RBP工法【補強土壁工法】を出展いたしました。

今回の開催テーマである「インフラ分野で深化するDX」に該当する「インフラDX」のブース関係では当然ながらICTやデジタル技術、クラウド活用を駆使したさまざまなシステムが紹介されています。

国土交通省では、主にインフラ分野のDXが進められており、新技術の開発・導入促進が積極的に行われています。

最近よく言われている「建設DX」とは、建設業におけるデジタル化やそれに伴う変革を目指す取り組みであり、世間的にはDXの推進が急務とされています。

それらの活用による業務の効率化、担い手不足の解消、技術の継承は、一見、遠いところにあるかのように思いますが法面関係工事でも例外ではありません。

間接的には進んでいるもの立ち遅れ感はありません。会場をひと回りすると、各社のブースでは、趣向を凝らした展示物やパネルのデザイン性、セッティングセンスも、多種多様な発想が見られます。

来場者の立場に立つてみると、まず目を引くブースの印象、次

付き油圧ブレイカー、三六〇度回転可能なロータリッドラムカッター。二種類のアタッチメントを西松建設(株)様に用意していただきました。以上により作業効率は断然に上がり作業を進めることができました。

生コン打設はポンプ車を使用しているの配管打設でしたがホッパーは車体後部に付いています。狭小なトンネル内では車両の反転が不可能なため大型セルフロードに逆向きで積載し搬入することで対応しました。様々な問題を克服しながら無事にインバート工を終えました。

また来年度、構造物復旧等施工はあります。紙面だけではお伝えしきれないほど本現場では様々な経験をしております。この経験、知識を今後社員、協力会社の皆様には是非、共有していただける様、鋭意努力してまいります。

長野支店 工事部 課長 長島 一徳

最後にになりましたが、発注者様、元請様、協力業者様、そして職員の皆様、多大なるご理解とご協力本当にありがとうございます。今後も引き続き安全良質、迅速対応に努めてまいります。紙面をお借りして御礼申し上げます。

九州支店 技術部 部長 栗木 廣二

この「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、新

州のさらなる建設技術の発展のために、新しい建設技術の開発・活用・普及をより効果的に図るため、「産」「学」「官」それぞれが新技術の開発・活用の取り組みについて情報を発信し、「産」「学」「官」で技術情報のプレゼンテーションや展示、新

・チルト角:左右50°(油圧)
・正面から叩けない狭小部も最適な打撃



縦型ブレイカー

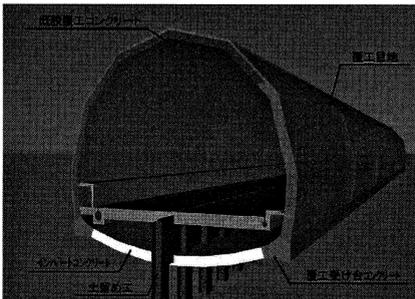
・ローテーション機能で360°回転
・狭小部でも最適な切削位置



ドラムカッター



インバートのコンクリート打設状況



トンネル補強 完成図

期末決算に向けて

九月に中間決算発表を行いました。業績は売上、利益共に過去最高額となり売上目標達成に向けて下期がスタートしております。しかしながら第二四半期決算短信に記載の通り受注高が前期に比べ大幅に減少しております。多くの株主様から今後の業績はどうかとの問いかけが寄せられました。ご心配をおかけし誠に申し訳ありません。

受注高に関しては昨年六月頃より営業スタッフの頑張りで前期末まで好調に推移し過去最高の受注残を記録し今期は良いスタートが切れております。この影響により中間で好決算を向かえることができました。受注高減少の主な要因は、地盤状況が

起因して大型工事の完工が遅れている事と、技術者と協力会社の人員不足及び専用機の数に限りがあり、これ以上受注しても仕事ができないという状況が続いたことでもあります。

現在は人員も整い受注活動に注力している状況です。技術者においては育成に長い年月を要するので、今後もリクルート活動やM&A等に注力し業績を伸ばして行く所存です。

また、株式分割時には新規に株主様が増えましたが株価は低迷しております。財務内容が堅調でも非財務情報の発信が少なく株主様にはご迷惑をお掛けしております。

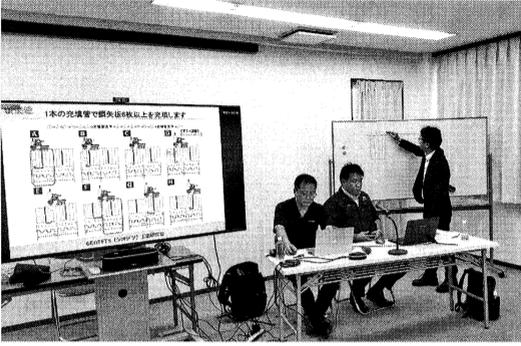
社内誌という新聞の発行もIRの一環として行っており、内容としておりますので、紙面内容変更など検討してまいります。

ジオテツ工法 実務研修会

九月二十八日(木)本社において、GEOTETS(ジオテツ)工法研究会より、渡辺会長、中野会長代理、杉会長補佐、滝本相談役の四名をお招きし、当社営業担当者向け実務研修会を開催しました。当社からはweb参加者を含め二〇人が参加致しました。

まず最初に、ジオテツ工法について概要を記します。
・ジオテツ工法とは
近接工事や堤防において、鋼矢板等の残置を回避し、安心して引抜けるオンリーワンの技術です。

・具体的には
仮設の鋼矢板、鋼管矢板、仮設橋脚のH杭、既設杭など、様々な杭を引抜く場合の沈下対策の特許を取得した工法で、土留め部材を引抜くことで生じる地中の空隙に専用の充填材(恒



久グラウト材)を引抜きながら同時に充填することで、土留め部材を固化したグラウト材に置き換える工法です。引抜後も周辺地盤にほとんど影響を及ぼすことなく、軟弱地盤や重要構造物に近接した箇所でも安心して撤去ができ、長期にわたり地盤

沈下などを抑制することができ
ます。
・工法の実績としては、二〇一〇年度から徐々に施工件数が増加、二〇二二年度は年間一五〇件以上を達成、二〇二三年八月時点で累計七〇〇件を突破。右肩上がりでの施工件数を着実に伸ばしています。
発注者は国土交通省、農林水

産省、都道府県、民間(高速道路・鉄道各社等)。公共工事と民間工事の比率は約八二の割合です。
実務研修会は三部構成で行われ(一)ジオテツ工法研究会の概要説明を渡辺会長、(二)営業活動及び技術説明を中野会長代理(三)施工体制や案件管理システムの説明を杉会長補佐に、それぞれ対応頂きました。当社単独ではなく、要所で研究会のサポートを受けて活動を進める事が重要であり、連携を取るうえで基本となるルールを学ぶ事が出来た大変有意義な研修会となりました。
当社の営業体制として、三年前に入会した長野支店を皮切りに、大阪支店、東京支店、名古屋支店、九州支店と支店単位での順次工法会員となり、全国各地での営業と施工が可能となりました。まずは営業活動を進めて参ります。



尚、ジオテツ工法に関する詳細については工法ホームページでも様々な情報提供を行っております。「ジオテツ」でご検索の上、ご不明な点については各支店の営業担当者にお問い合わせ下さい。
東京支店 東北営業所
課長 前川 翔太

回転式破碎混合工法 施工事例研修会

社員の技術向上、社内情報共有の目的を兼ねて、継ぐ会(八期生)主催第一回、施工事例研修会を九月二十八日にウェブ形式で開催致しました。令和六年四月からの働き方改革を見直し、今迄の業務外での開催を見直し、平日の一六時から一七時での開催にて執り行いましたが、内業職員のみならず外先からの参加者もいて、思いのほか多くの方に参加頂きました。当日参加出来ない方の為に、後日何時でも閲覧出来るように研修会を録画して社員全員が参加出来る様に致しました。

今回の施工事例は回転式破碎混合工法(ツイスター工法)で講師を長野支店工事部福田課長にお願ひ致しました。工法の概要から始まり、本人の体験談を

実際の現場写真・ビデオを使用

しての講義で、工法を初めて見る方にも分かり易く纏めてあり、今後の課題と改善を情報共有出来たと思ひます。

研修会の目的は、始めに書いた様に職員の技術向上・社内情報共有です。当社は時代に沿って新工法を習得し業績を上げてきました。その為、工法も多岐にわたります。皆さんご意見が会社のスキルアップ及び業績アップに繋がりますので、一人でも多くのご参加お願ひ致します。

最後に、忙しい中研修会の資料作り、ウェブテスト、そして当日の講義をして頂いた福田課長様に、継ぐ会を代表しお礼を申し上げます。ありがとうございました。

安全表彰では、会社表彰として株式会社JKY様、株式会社佐々木工業様、個人表彰では環境開発部の小山田課長、工事部の立石係長が表彰されました。その後、工事部 成瀬君による安全宣言が行われ、今年度の安全スローガンである、「高め意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災害職場」のもと、九州支店も無事故・無災害に日々努力してまいります。
安全講和では、当社北川安全環境部長より、建設業全般の発生事例や、経験された事故の発生状況、KY活動の重要性などを解説していただきました。解説の中で、各お札に描かれている、人物画が誰か分かりますか?というクイズがありました。答え合わせを通じて気づかされましたが、人は自分が興味を持ちたなければ、毎日見るものであっても覚えていないという事でした。私も、日々繰り返す作業をする中で、当たり前になってしまっている事について、再度危険性や注意点を皆で話し合い、

☆新しい仲間
一〇月一日
寺本 稔
建築事業部
一〇月一〇日
市川 覚
管理本部

共済会だより

「④傾聴の姿勢を持つ」といった四つです。
①・②は個々の努力で、③・④は顧客、上長、同僚、部下とのコミュニケーションから得てスキルアップ致します。研修会はこのビジネス変化対応力の一つの教材になればと思ひ開催致します。
研修会の今後は研修後に集めたアンケートを集計し、意見が多かったテーマから順に開催を致します。皆さんご意見が会社のスキルアップ及び業績アップに繋がりますので、一人でも多くのご参加お願ひ致します。
最後になりますが、忙しい中研修会の資料作り、ウェブテスト、そして当日の講義をして頂いた福田課長様に、継ぐ会を代表しお礼を申し上げます。ありがとうございました。

継ぐ会 社員研修会担当
瀬底 正頼

た。
安全表彰では、会社表彰として株式会社JKY様、株式会社佐々木工業様、個人表彰では環境開発部の小山田課長、工事部の立石係長が表彰されました。その後、工事部 成瀬君による安全宣言が行われ、今年度の安全スローガンである、「高め意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災害職場」のもと、九州支店も無事故・無災害に日々努力してまいります。
安全講和では、当社北川安全環境部長より、建設業全般の発生事例や、経験された事故の発生状況、KY活動の重要性などを解説していただきました。解説の中で、各お札に描かれている、人物画が誰か分かりますか?というクイズがありました。答え合わせを通じて気づかされましたが、人は自分が興味を持ちたなければ、毎日見るものであっても覚えていないという事でした。私も、日々繰り返す作業をする中で、当たり前になってしまっている事について、再度危険性や注意点を皆で話し合い、